

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2371001617		
法人名	医療法人 西口整形外科		
事業所名	グループホーム千音寺 かほり		
所在地	名古屋市中川区富田町大字千音寺字間渡里2883番地		
自己評価作成日	平成26年11月11日	評価結果市町村受理日	平成27年2月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人なごみ(和)の会		
所在地	名古屋市中種区小松町五丁目2番5		
訪問調査日	平成26年12月11日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

理念を共有しながら、その人らしさを尊重して希望に添えるように支援している。  
 又、定期的にホーム便りを発行し、ホームでの生活の様子を紹介し、家族との関わりを大切にして、悩み等の相談には常に対応し、家族の意見を重視している。  
 母体の法人が整形外科診療所を開設している医療法人であり、医療リハビリには力を入れている。  
 又、介護事業も通所リハビリ・認知症デイサービス・介護老人保健施設等を運営しており、多機能となっている。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

グループホーム千音寺は、母体医療法人のサポート体制により、日常の健康管理や緊急時等の対応が充実しており、入居者や家族へ安心感を提供することの出来る2ユニットの事業所である。その人の保有能力を把握し援助の必要性を見極めながら、入居者本位の自立を目指した日常を実現することに取り組んでいる。法人のバックアップは、医療面のみならず、併設デイサービスのレクリエーション参加や、敷地内保育所の子どもたちと季節の行事を楽しむ等がある。日によって、その日の過ごし方が多様であり、それらは入居者の意向を尊重して提供されている。また、職員の定着率が高く、変動が少ないため、入居者の安心した穏やかな暮らしに繋がっている。今年度、法人の取り組みとして、職員のステップアップに重点をおいており、介護プロフェッショナルキャリア段位制度に数名の職員が登録をして取得したり、他の外部研修へも該当者を積極的に参加させて、スキル向上を図っている。より質の高いケアサービスを提供するため研鑽を積みながら、入居者一人ひとりのペースに合わせた暮らしが維持されるよう支援に取り組んでいる事業所である。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	共同生活室に理念を掲示し、ミーティング時に唱和し、理念を共有して職務にあたるようにしている。	理念は、共用部に掲示され、職員間では、2か月に一度のミーティング時に唱和して共有している。その都度、入居者に敬意を払って対応するよう話をしている。自立した生活が送れるよう残存機能を活かした支援や、入居者の生活歴の把握に努め、分からない事は教えていただくという姿勢で、理念の実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の小中学校に体験学習等の受け入れや、近隣のお店や喫茶店に利用者様と出かけて行き、地域の方とのふれ合いを大切にしている。	自治会に加入しており、地域の情報は地域の人が直接持参下さるチラシ等から得ている。小中学校の体験学習の受け入れを行っており、小学校の運動会へ見学に行くこともある。散歩を兼ね、買い物や喫茶店へ出かけることが多く、新聞を買いに行く人もいる。出会う近隣住民と挨拶を交わしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩や買い物などで挨拶を交わし地域の方とのふれ合いを通してグループホームを理解していただくよう心がけている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、サービスの取組状況等について報告し、意見交換を行いサービスの向上に活かしている。	入居者家族、民生委員、老人会会長、いきいき支援センター、法人内の協力医、管理栄養士等の構成員で、3か月に一度開催している。会議の際には、ホームだよりを事業報告に活用している。災害備蓄品の整備や、公的な制度に関しての報告、また、地域情報収集や、参加家族と専門職との相談の場となっている。	議題案を職員間で検討し合う等、年間6回の運営推進会議の開催に向けて取り組まれることを期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	定期的に、生活保護保護係担当者の訪問を受け利用者様の相談や状況等の報告をしている。地、域包括支援センター職員、市介護保険課の担当職員とも連絡を取り、協力関係を築くようにしている。	中川区の保護係や福祉課と、面談や電話等で連携している。行政主催のものを始め、研修や講習会の情報は職員間で回覧し、希望者を募っている。今年度アセッサー講習等、積極的に職員に受講させ事業所全体のサービスの質の向上を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部からの侵入等の安全面を考慮し、玄関のみオートロック・モニター管理しているが、身体拘束をしないケアを心がけている。研修等に参加した場合、資料等を回覧し、職員間で知識を共有すように努めている。	玄関と各フロアで施錠をしている。身体拘束について、外部研修に参加した際には持ち帰って、ミーティング時に受講時の資料で職員間共有し、検討の機会としている。新任職員へは、入職時に資料を渡している。	鍵をかけなくても安全に過ごせる環境を整備する等、施錠の必要性の検討と共に、工夫を重ねていかれることが求められる。また、定期的に振り返りの機会が得られるよう年間研修計画に組み込む等の取り組みが期待される。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員を外部の研修会に参加させ、資料や情報等を他職員が閲覧出来るようにし、得た知識を事業所内で活かすようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修等に参加し、制度の理解を深めるように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分な時間をかけ説明を行い、理解・納得の上契約して頂いている。報酬改定時には、内容等を書面にし、説明の上同意を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や、運営推進会議に日々の様子を報告したり、相談や苦情等を話し合う機会を設けている。	運営推進会議時や家族の来訪の際に、意見や要望の聴取をしている。家族面会時には、入居者が在宅だった時のことを聴いたり、ホームでの様子を話す等、密に情報交換するよう職員へ伝え交流を図ったり、法人主催の夏祭りへの招待をする等、家族との関係構築に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員ミーティングを定期的開催し、意見交換や提案等を聞く機会を設け、運営に反映させている。	職員意見や提案は、2カ月に一度のミーティング時に発言する事が出来る。ミーティングのテーマは、職員が当番制で受けもち、入居者個別のケース会議を開催して、ケアの統一を図っている。日常の業務の中では、連絡ノートで情報交換を行い、提案等もこのノートを活用している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	介護労働者雇用管理責任者を置き、就業環境・勤務状況等を整備している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等に積極的に参加し、資料等を職員間で共有して、研修内容を他の職員にもフィードバックし、質の高いケアを目指し、日々取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修参加時等、同業者との意見交換を通じて、交流を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様から、直接話を伺い、本人の困っている事や要望・希望を見つけ出し、サービスにつなげる様にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の面会時に利用者様の様子等を伝え、家族の不安や要望等の相談にのり、信頼関係が築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前より情報を収集し、アセスメント時に必要な支援は何かを、見極めている。又、受けられる医療サービスの担当者とも相談し対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は出来るだけ本人にさせていただく様に支え、共同生活上でして頂ける事も共に行うように支援している。		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会の機会が増えるように、買い物をお願いしたり、行事に参加して頂ける様に工夫している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	続いている友人関係が途切れない様に、友人や近所の方が、訪ねてきやすい環境づくりに努めている。	入居者は、これまでにやってきた買い物や墓参りへ友人や家族等の馴染みの人と外出している。その友人へ来訪の依頼をするための電話支援をしている。入居後に新しく馴染みとなりつつある、近所の店への同行や、階下のデイサービスの人達との交流を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同生活室の雰囲気を穏やかに保ち、利用者様同士が、会話したり、くつろいで過ごせる様に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの終了が看取りという形になる事が多いが、退所された場合は、その後も家族よりご本人の経過等を聞いている。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の様子等から、本人の希望・意向の把握に努め、コミュニケーションを取る様にしている。	入居時に聴き取った情報を基にして、好きな物事を日常会話に取り入れて、反応や表情から思いを把握したり、失語があり、会話が難しい場合は筆談でコミュニケーションを図る等、状況に合わせた支援で思いの把握に努めている。例えば、入浴中「温泉に行きたい」のつぶやきを拾うこともあり、その際には家族へ報告している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴を家族から聴き、これまでのサービス利用の経過は、居宅支援事業所等より情報を収集し、介護計画の作成時に反映させるように努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の介護を通じて、ひとりひとりの様子を注意深く観察する事により、出来る事、出来ない事や心身状態の現状把握に努めている。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	二ヶ月に一回の職員ミーティング時にケアのあり方について話し合い、様態に変化がある場合は随時見直しを行っている。又、ご家族や主治医の協力も得ながら、意見を出して頂く様にしている。	計画の見直しは、6か月に一回を基本としている。2か月に一度のミーティングの際に、ケース会議にてモニタリングを職員全員で行い、意見を出し合い、本人本位で検討している。また、これまでの生活歴から本人の好きな事等を計画に取り入れ、継続できるよう支援している。家族からは意見・要望を前もって聴取している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録に日々の様子等を全て記録し、申し送りや連絡ノートにより、全職員が内容を把握し、情報を共有している。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	母体施設である整形外科診療所、認知症デイサービス、通たきのうか所りハビリ、介護老人保健施設と多機能化に取り組み、必要に応じて支援やサービスを提供できる体制作りに努めている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的に運営推進会議を開催し、地域の方や民生委員の方等から情報や意見を頂いている。			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による月二回の訪問診療、整形外科への定期受診を行っている。又、近隣の協力医療機関への受診は職員により行っている。入居以前からのかかりつけ医への受診は家族対応で行っている。	法人の協力医の定期的な訪問診療があり、月に2回受診している。訪問看護は毎日あり、日常の健康管理や相談等きめ細かく対応しており、医療面での安心を支えている。また、敷地内には整形外科も併設しており、リハビリへの送迎を行っている。かかりつけ医や他科へは基本的に家族対応だが、近所の歯科、眼科は職員が同行している。誤薬防止に、二人で薬分けの確認を行っている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の体調のへんかをよく観察し、緊急時や体調不良時には看護師に報告、相談し主治医に連絡、指示を受けて適切に対応している。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、病院関係者との情報交換や家族との相談に努めている。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医や家族と十分に話し合い方針を共有し支援に取り組んでいる。 看取りについては、早い段階から、主治医、家族と話し合い、同意に基づいて支援に努めている。	契約時に重度化に関するホームの方針を説明し、同意書を交わしている。利用者の状態変化に応じて、その都度家族と話し合っている。協力医、管理者共、緊急時対応が可能であり連絡体制が整備されている。また、家族が直接、医療関係者へ相談出来るよう取次いでおり、希望あれば付き添いの宿泊を可能としている。家族への連絡手順を職員へ徹底し、緊急時に備え配慮している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修等で急変や事故発生時に備え、初期対応の訓練を行っている。 又、外部の研修に参加して情報や知識を得ている。			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防設備点検業者の協力の下、年二回の消防訓練を実施している。 又、地域と防災協力の関係を築いている。	今年度は、夜間火災想定避難訓練を二回行っている。その際に、デイサービスと合同で、消火器の取り扱い指導を受けている。また、避難所に指定されている小学校にての自治会の消防訓練へ参加している。地域住民へは、水害時に当施設への一時的避難の受け入れが可能である事を運営推進会議を通して伝えている。備蓄は、計画に沿って今年度、水を3日分準備した。食糧は現在検討中。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使いには十分注意し、大声にならない穏やかな声掛けをする様に心がけている。 職員同士、注意し合うようにしている。	日常の言葉掛けに配慮しており、特に声の大きさに注意するよう職員へ伝えている。名前は、基本「さん」を付けて呼び、入居者によっては希望の呼び名を使用している。ミーティング時に利用者一人ひとりの人格尊重とプライバシーに配慮した対応について確認し、新任職員へも接遇について話している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望、要望時には、必ず傾聴し、自己決定出来る様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の趣味、生活リズムに合わせて、自由に過ごせる様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月二回の理美容サービスを利用して頂いている。又、女性の方には、マニキュアやお化粧品等のお洒落を楽しんで頂ける様に支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的に栄養士と希望等を話す機会を設け、献立に反映させ作成している。おやつも、一緒に手作りをしたりしている。 又、希望をお聞きして、宅配サービスや外食等の機会を作っている。	入居者の食の要望は、食事の様子から観察し、来訪する管理栄養士へ伝えている。行事食も含めて、隣接の法人福祉施設で調理されたものが配食されるが、盛り付け等をホームで行い、個々に合った食事を提供している。時には宅配を利用して、刺身や寿司等、入居者の好みを反映したり、手作りおやつを作ったり、誕生日にはその人の好きなケーキを買いに行く等で楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や水分量等、個別の介護記録に記録し、体調管理をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアをして頂き、一人ではできない方は、職員が手伝いながら清潔保持に努めている。 入れ歯等も毎日消毒している。		

自己	外部	項目	外部評価		
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄等は、毎回記録しひとりひとりの排泄パターンを把握し、声かけ等しながら自立に向けた支援を行っている。	排泄頻度等を記録した個人記録を参考に個々の間隔で声かけを行っている。車椅子使用の入居者の排泄の自立支援に、自走出来るスペースを確保したり、トイレの跳ね上げ式アームを細工している。また、清潔感あるトイレであり、パッド交換時も消臭剤を撒き、香りの配慮もしている。夜間時のトイレ使用の把握のために、鈴を入口取っ手に、ぬいぐるみと共にさりげなく付けており、工夫が見られる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排泄の記録をし、便秘にならない様、食事・水分・運動・薬等で個々に応じた予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	二日ないし三日に一度の頻度で入浴出来る様に本人の希望を聞き、体調に合わせ、入浴の支援を行っている。 浴槽に入れない場合はシャワー浴で対応し、同時に足浴も行っている。	基本的には2～3日に一回実施しているが、その日の意向や体調を考慮しながら声かけをしている。入浴剤で肌の保湿に配慮し、浴室と脱衣所二か所に暖房設備があり、湯の入れ替えやマット交換を毎回行う等、入浴環境を整えている。職員と歌を一緒に歌い入浴を楽しんでいる入居者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ひとりひとりの体調を確認し、仮眠等の休息を取って頂き、室温や水分補給に気を付け、気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診記録にて投薬の内容、用法等を全職員が確認し、把握している。 ひとりひとりの名前を確認し、間違いのないよう確実に服薬する様に支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の片付けや、洗濯物のたたみ、おやつ作り等行い、カラオケや手芸、貼り絵等、ひとりひとりの力を活かして楽しんで頂ける様支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、近所への散歩や買い物、喫茶店等に出かけ、地域の方と挨拶等会話を交わし交流している。ご家族にも協力して頂き、面会時一緒に外出、出来る様に努めている。	リハビリや外来受診で外出した際に、敷地内を散歩や寄り道をしたり、個々の希望に沿い、近所の店へ買い物や喫茶店へ行っている。ホーム全体では、年に1～2回、外食へ出かけたり、正月には初詣に近くの神社へ徒歩で、少人数単位で出向く等している。	



自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、事業所で管理しているが、希望される場合には多少のお金は手元にも持てる様にしている。又、その場合、買い物時には、同行見守りの上で本人に支払いまで行って頂いている。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望時には、職員が同行し、事業所の公衆電話を利用して頂いている。			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング(共同生活室)の壁等に利用者様手作りの作品や季節の飾り等を飾り、季節感を取り入れている。 毎朝、共用空間を掃除し清潔に努めている。	職員の案で、くじ引きによる食卓の席替えをしている。それにより入居者間の交流が良好となり、人間関係の配慮の工夫が功を奏している。両面にシンクがあるアイランドキッチン、共用部側が一段低く、入居者の身長に配慮された高さになっている。入居者の趣味の作品が壁に展示され、また、日付認識を高めるためのカレンダーが至る場所に貼られている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのテーブルに名前を貼り個人の居場所を確保している。三月に一度席替えを行っている。歌番組のDVD等を流し、利用者様同士歌ったり、会話したり出来るきっかけを作る工夫をしている。			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のタンスの上等に本人の気に入ったぬいぐるみや手芸品等を飾り、又好きなカレンダーを飾ったりして、日々居心地良く過ごせる様にしている。	自宅のタンスを持ち込んで入居者がみえた。傷みが激しい部分を靴置きに改良しながら、以前からの物を使用して生活している様子が伺えた。のれんは希望者のみだが、ほぼ全員掛けており、ドアを開放しても中が見えず、プライバシーが確保されている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや廊下には手すりが設置しており、手すりを活用し、トイレ、車椅子への移乗等、ご自分の力で立ち上がるよう支援している。			

(別紙4(2))

事業所名 GH 千音寺

## 目標達成計画

作成日: 平成 27 年 2 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が定期的に開催されていない	2か月に1回の定期的な開催を実施する	偶数月の第一金曜日に実施するように決定し計画的に行う	12ヵ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。